

大津小便り

平成二十八年
五月九日(月)
N O 一
文責 吉良智恵美

この度の地震で被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます
・「心一つ」に再スタート・

四月十四日(木)及び十六日(土)の熊本地震は、大津小学校の児童・保護者をはじめ、地域の皆様など多くの方々に、かつてないほどの恐怖とともに甚大な被害を与えました。本校では、十四日(木)の前震で翌日を休校にしましたが、十六日(土)の本震による被害拡大のため、最終的には、五月六日(金)までの約三週間という長期間の休校措置をとらざるを得なくなりました。

この間、地震直後のメールによる子どもや職員の安否確認に始まり、全職員で、継続的に一人一人の子どもの被害や避難の状況を把握してきたところです。

幸いにも、子どもたち全員が無事でいたれたことに、まずは安心したものの、本日に至っても止まない余震もあり、それぞれの心労は、相当に重なっているのではと思います。大津町では、授業再開の前、二週間に亘り、四日ほどの学校開放日を設けました。少しでも、子どもたちの心が元気になる時間を創ればと思ったからです。半数ほどの子どもが登校してくれ、笑顔を見ることが出来ましたが、本日の授業再開日が久しぶりの登校だという子どもも多くいます。

また本日より、南阿蘇西小学校の立野地区を中心に、二十一名の子どもさん達が、本校に体験入学して来られました。まさかの阿蘇大橋の崩落のため学校に通えないからです。町内の避難所から通って来る子どもさんもおられ、本校の子どもたち同様、さまざまなおストレスを抱えているのではと心配です。体験入学とは言え、本校の子どもたちの一人として迎え、共に、この困難を乗り越え「元気」と「活力」を取り戻してまいります。

大津小学校の教育目標

夢を持ち、笑顔と自信にあふれる
子どもの育成

一ヶ月遅れの「大津小便り」ですが、今年もよろしくお願ひします。併せて、本校のホームページも充実しています。見てくださいね。

今年も「夢」(自分の目標や将来像)を持ち、学びの実感(「やった」「分かった」)の中で笑顔と自信に溢れる学校を目指します。まずは、「笑顔」が一つでも増えるように、今年も六年生を中心とした楽しい学校生活を創っていきます。

運動会の開催・五月二十九日(日)

先にメール等でも連絡させていただきましたが、本年度の運動会を計画通り、五月二十九日(日)に開催します。

本日が学校再開ですので、PTA会長の意見も伺いながら、全職員で、開催の可能性やメリット・デメリットなどを検討しました。毎年大津小では、この時期に六年生がリーダーシップを発揮して、すばらしい運動会を成功させてきました。子どもたちが見せる団結のパワーは、保護者や地域の皆さんの感動を呼び、子どもたちも互いの絆を強めました。運動会が要となり、上級生をリーダーにした一年間の学校生活がスタートしてきたとも言えます。今年の六年生も、歴代の六年生の姿にあこがれ、今年の運動会に向けて前年度から張り切っていた姿があります。

体育館も使用できない今年は、昨年と同じような運動会は出来ないでしょう。でも、この状況で出来る「今年の運動会」を目標に掲げ、全員が一致団結することで、きっと子どもたちも、本来の「元気」と「活力」を取り戻してくれると思うのです。「大津っ子」の底力に期待し、前に踏み出したいと思います。

※校訓

かしこく、清く正しく、たくましく

「時を守り、場を清め、礼を糺(ただ)す」

- 子どもも教職員も、
- 時間や約束を守ります
- 整理整頓・無言掃除で気持ちよい学びの環境づくりをします。
- 相手に届く挨拶をします。



この他にも、タイル等の剥落やヒビ等があります。安全を確保しながら、少しずつ修理してまいります。

子どもたちの心のケアについて

今回のような震災後には、子どもたちの様子に変化が見られる場合があります。出来るだけ早く気付きケアをすることが大切です。本日、保護者に配布しました資料を参考に、何か気になることがあれば、担任まで連絡してください。専門家につながることも可能です。

地震による本校の主な被害状況について

- 体育館北側壁面のパネル崩落及び屋根の一部破損
・一年以上の工期が必要なため現在、使用不可。
- 保健室下部の水道管漏水
・休みの日は、校舎内外は断水します。
- 図書室前廊下
・天井板の検査が終了するまで、通行禁止。

大津小キャラクター「おおづっち」、女の子は、「おおづっぴ」です。二十六年度の児童会役員が全校に呼び掛けて、誕生しました。



